

平成18年3月24日

各位

会社名 アクモス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 飯島秀幸
 (JASDAQ・コード 6888)
 問合せ先 事業統括室室長 中川智章
 電話番号 03-3239-2377

(訂正) 平成18年6月期中間決算短信(連結)の一部訂正について

平18年2月15日に発表いたしました「平成18年6月期中間決算短信(連結)」(以下「中間短信」)の記載内容について訂正がありましたのでお知らせいたします。なお、本訂正が中間短信で発表した業績及び業績予想に与える影響はありません。

正誤表 (訂正箇所には下線 を付して表示しております。)

注記事項の訂正においては、当中間連結会計期間に関わる訂正箇所のみを記載し、訂正のない前中間連結会計期間及び前連結会計年度にかかる記載は省略してあります。

1.

(イ) 訂正内容

9ページ

(2) 財政状態

キャッシュフローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

【訂正前】

営業によるキャッシュ・フローは、(中略) 主な理由は、仕入債務の減少、法人税等の支払、その他の資産の減少によるものであります。

【訂正後】

営業によるキャッシュ・フローは、(中略) 主な理由は、仕入債務の減少、法人税等の支払、その他の負債の減少によるものであります。

27ページ

(中間連結損益計算書関係)

【訂正前】

当中間連結会計期間 (自 平成17年7月1日 至 平成17年12月31日)
3 <u> </u>

【訂正後】

当中間連結会計期間 (自 平成17年7月1日 至 平成17年12月31日)
3 <u>固定資産除却損の内訳</u> <u>建物及び構築物</u> <u>974千円</u>

海外売上高

【訂正前】

当中間連結会計期間(自 平成17年7月1日 至 平成17年12月31日)において、本邦以外の国または地域に対する海外売上はないため、該当事項はありません。

【訂正後】

当中間連結会計期間(自 平成17年7月1日 至 平成17年12月31日)において、連結売上高の10%未満であるため海外売上高の記載を省略しております。

(口)訂正理由

入力ミスによる誤り及び入力漏れが判明したことによる訂正です。

2 .

(イ) 訂正内容
27ページ

注記事項
(中間連結貸借対照表関係)

【訂正前】

当中間連結会計期間末 (平成17年12月31日)	
1 担保に供している資産	
定期預金	40,072千円
上記に対応する債務	
短期借入金	10,000千円
長期借入金	102,582千円
(一年以内返済予定額を含む)	

【訂正後】

当中間連結会計期間末 (平成17年12月31日)	
1 担保に供している資産	
定期預金	40,072千円
建物	106,417千円
土地	66,904千円
上記に対応する債務	
短期借入金	10,000千円
長期借入金	315,082千円
(一年以内返済予定額を含む)	

30ページ
(リース取引関係)

【訂正前】

当中間連結会計期間 (自 平成17年7月1日 至 平成17年12月31日)	
1 リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引に係る注記	
(1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び中間期末残高相当額	
	工具器具備品 (千円)
取得価額相当額	51,309
減価償却累計額相当額	39,848
中間期末残高相当額	11,461
(2) 未経過リース料中間期末残高相当額	
1年内	4,726千円
1年超	6,952千円
合計	11,678千円
2 オペレーティング・リース取引未経過リース料	
1年内	536千円
1年超	千円
合計	536千円

【訂正後】

当中間連結会計期間 (自 平成17年7月1日 至 平成17年12月31日)		
1 リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引に係る注記		
(1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び中間期末残高相当額		
	工具器具備品 (千円)	ソフトウェア (千円)
取得価額相当額	65,253	76,000
減価償却累計額相当額	48,650	20,349
中間期末残高相当額	16,602	55,650
(2) 未経過リース料中間期末残高相当額		
1年内	20,703千円	
1年超	53,075千円	
合計	73,778千円	
2 オペレーティング・リース取引未経過リース料		
1年内	7,956千円	
1年超	12,758千円	
合計	20,714千円	

当中間連結会計期間(平成17年12月31日)

【訂正前】

有価証券			
1	その他有価証券で時価のあるもの	当中間連結会計期間末(平成17年12月31日)	
		取得原価 (千円)	中間連結貸借対照表 計上額 (千円)
	(1) 株式	790	850
	(2) その他	999	1,018
	合計	1,789	1,868
2	時価評価されていない主な有価証券の内容及び中間連結貸借対照表計上額	当中間連結会計期間末(平成17年12月31日)	
	その他有価証券		
	非上場株式(店頭売買株式を除く)	3,549千円	
	非上場債券	1,999千円	

(注) 当中間連結会計期間において、有価証券について200千円(その他有価証券で時価のない株式)減損処理を行っております。
なお、減損処理にあたっては、期末における時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合には全て減損処理を行い、30~50%程度下落した場合には、当該金額の重要性、回復可能性等を考慮して必要と認められた額について減損処理を行っております。

【訂正後】

有価証券			
1	その他有価証券で時価のあるもの	当中間連結会計期間末(平成17年12月31日)	
		取得原価 (千円)	中間連結貸借対照表 計上額 (千円)
	(1) 株式	17,202	14,179
	(2) その他	999	1,018
	合計	18,201	15,198
2	時価評価されていない主な有価証券の内容及び中間連結貸借対照表計上額	当中間連結会計期間末(平成17年12月31日)	
	その他有価証券		
	非上場株式	7,881千円	
	非上場債券	1,999千円	

(注) 当中間連結会計期間において、有価証券について200千円(その他有価証券で時価のない株式)減損処理を行っております。
なお、減損処理にあたっては、期末における時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合には全て減損処理を行い、30~50%程度下落した場合には、当該金額の重要性、回復可能性等を考慮して必要と認められた額について減損処理を行っております。

(口) 訂正理由

中間連結財務諸表の作成時においては、平成17年9月1日付で株式交換により子会社となった茨城ソフトウェア開発株式会社(以下、「ISD」という。)に関し、株式交換日前日の8月31日現在の貸借対照表のみを連結し、中間短信を作成いたしました。ISDに関わる注記事項は記載しておりませんでした。

この度、半期報告書の記載内容としてISDに関わる注記事項を追加して記載するよう、監査法人より指摘があったため、中間短信上の注記事項の記載についても変更することにいたしました。

以上